

令和4年10月14日開催

大阪府大阪市在宅医療懇話会資料抜粋

在宅医療に関する実態調査（医科診療所）

集計結果まとめ

【大阪市二次医療圏】

令和4年9月

保健医療企画課

▶ 集計結果（回答:330 診療所）

A 診療所の概要

2-1) 医師数および看護師数

① 医師（常勤換算）

	件数	割合
1人	249	75.5%
2人	49	14.8%
3人	25	7.6%
4人	3	0.9%
5人	1	0.3%
6人	1	0.3%
7人以上	2	0.6%
合計	330	100%
平均	1.48人	

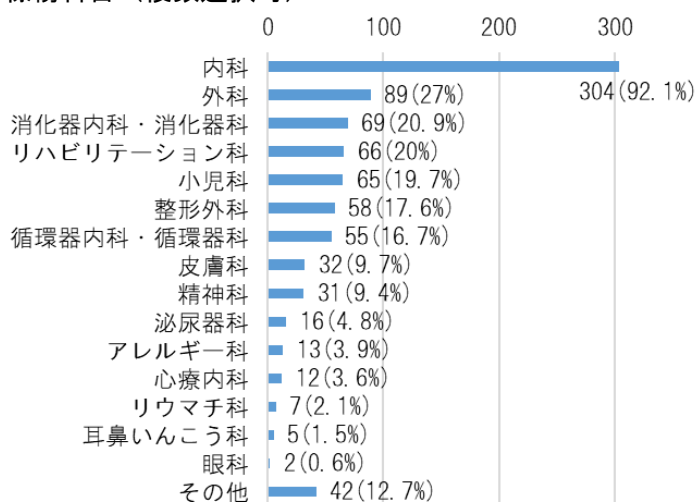
② 看護師（常勤換算）

	件数	割合
0人	20	6.1%
1人	89	27.0%
2人	106	32.1%
3人	60	18.2%
4人	29	8.8%
5人	14	4.2%
6人	5	1.5%
7人	4	1.2%
8人以上	3	0.9%
合計	330	100%
平均	2.28人	

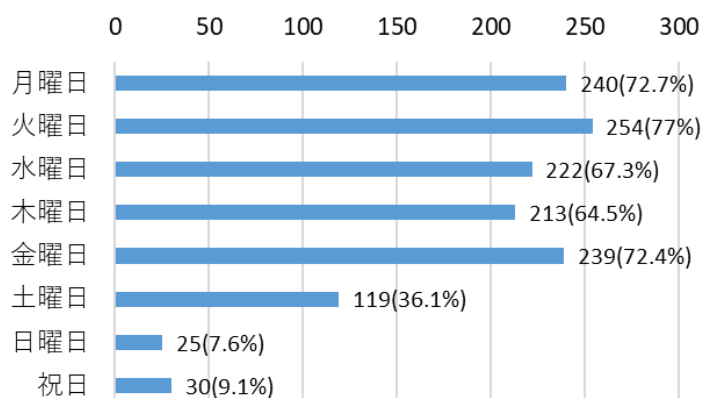
2-2) 医師の年齢

	件数	割合
40歳未満	20	6.1%
40歳～49歳	44	13.3%
50歳～59歳	101	30.6%
60歳～69歳	134	40.6%
70歳以上	31	9.4%
合計	330	100%

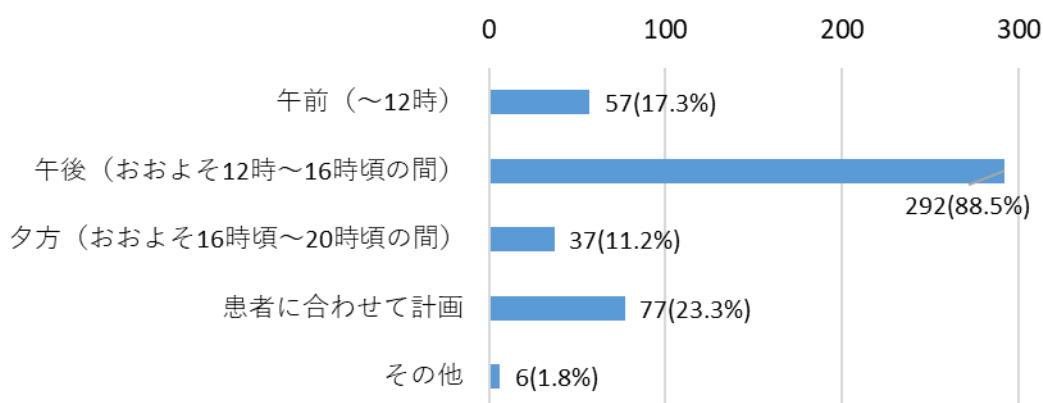
3 標榜科目（複数選択可）



4 ① 訪問診療の実施曜日（複数選択可）



②訪問診療の実施時間（複数選択可）



5 医師会への加入

	件数	割合
加入している	277	83.9%
加入していない	53	16.1%
合計	330	100%

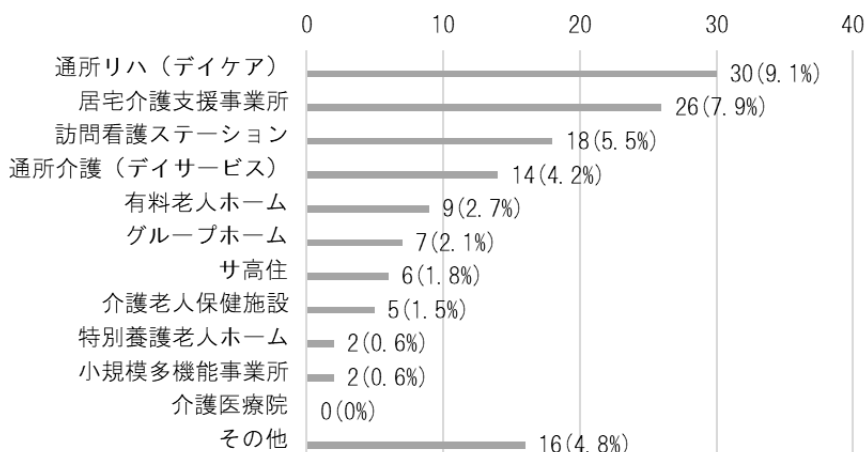
6 在宅支援診療所（在支診）の届出

	件数	割合
在支診 1	62	18.8%
在支診 2	84	25.5%
在支診 3	147	44.5%
届出なし	37	11.2%
合計	330	100%

7 在宅専門診療所の指定

	件数	割合
受けている	10	3.0%
受けていない	320	97.0%
合計	330	100%

8 併設施設・併設事業所（複数選択可）



（在宅専門診療所の内訳）

※在支診の届出

	件数	割合
在支診 1	2	20.0%
在支診 2	3	30.0%
在支診 3	5	50.0%
合計	10	100%

※医師会への加入

	件数	割合
加入している	8	80.0%
加入していない	2	20.0%
合計	10	100%

9 高齢者の入所施設等(有料老人ホーム、サ高住含む)

	件数	割合
協力医療機関である	95	28.8%
協力医療機関にはなっていない	235	71.2%
合計	330	100%

協力医療機関となっている各施設の数(複数選択可)

	1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	6施設以上	合計
有料老人ホーム	18	15	5	5	7	13	63
グループホーム	27	10	0	2	4	2	45
サ高住	14	12	6	2	4	3	41
介護老人保健施設	7	8	0	1	1	3	20
特別養護老人ホーム	10	4	1	0	0	1	16
小規模多機能事業所	6	0	0	0	0	1	7
介護医療院	1	0	0	0	0	0	1
その他	10	1	1	0	0	2	14

B 訪問診療の状況や体制

1 訪問診療の対象

	件数	割合
依頼があれば可能な限り実施している	193	58.5%
原則、かかりつけ患者のみ実施している	137	41.5%
合計	330	100%

2 訪問診療の体制(複数選択可)

	件数	割合
主治医ができない時は院内の他の医師が診療	68	20.6%
地域の診療所と連携(グループ診療)	66	20.0%
常より院内の複数医師で1人の患者を診療	18	5.5%
主治医・副主治医制で対応	12	3.6%
上記以外	184	55.8%

回答合計 348

3 訪問診療等に関する件数(概数。レセプト件数)

ア 訪問診療件数(居宅)

	2月	4月
0件	32	35
1~10件	160	152
11~20件	50	52
21~30件	21	23
31~40件	10	12
41~50件	16	14
51~100件	20	18
101件以上	21	24
合計	330	330

イ 訪問診療件数(施設)

	2月	4月
0件	146	143
1~10件	87	89
11~20件	23	22
21~30件	9	10
31~40件	8	5
41~50件	6	7
51~100件	15	14
101件以上	36	40
合計	330	330

ウ 訪問診療の患者への

オンライン診療件数

	2月	4月
0件	325	324
1~10件	3	3
11~20件	0	0
21~30件	1	1
31~40件	0	0
41~50件	0	0
51~100件	0	1
101件以上	1	1
合計	330	330

エ ウ以外のオンライン診療件数

	2月	4月
0件	297	302
1~10件	13	15
11~20件	7	6
21~30件	7	2
31~40件	1	0
41~50件	2	3
51~100件	1	1
101件以上	2	1
合計	330	330

オ 看取り患者数

(令和3年4月~4年3月)

	件数
0件	109
1~10件	169
11~20件	25
21~30件	5
31~40件	6
41~50件	7
51~100件	5
101件以上	4
合計	330

月あたりの全診療所合計
1診療所あたりの平均件数

	2月	4月
合計件数	9,800	9,909
平均	30	30

イ 訪問診療件数(施設)

	2月	4月
合計件数	13,741	14,895
平均	41.6	45.1

ウ 訪問診療の患者への

オンライン診療件数

	2月	4月
合計件数	137	890
平均	0.4	2.7

エ ウ以外のオンライン

診療件数

	2月	4月
合計件数	1,992	1,139
平均	6.0	3.5

オ 看取り患者数

	件数
合計件数	2,478
平均	7.5

4 在宅時医学総合管理料で、訪問による対面診療と
情報通信機器を用いた診療とを組み合わせた
診療報酬(オンライン診療)の利用状況

	件数	割合
利用する予定はない	228	69.1%
利用を検討中	77	23.3%
今年度中には利用を予定している	18	5.5%
利用している	7	2.1%
合計	330	100%

5 現在、訪問可能な回数(上限件数)

	居宅	施設
0回/月	9	73
1~10回/月	148	151
11~20回/月	59	27
21~30回/月	18	12
31~40回/月	11	6
41~50回/月	17	15
51~100回/月	39	18
101回/月以上	29	28
合計	330	330

回答合計: 13,726 件/月(居宅)、16,319 件/月(施設)

平均: 41.6 件/月(居宅)、49.5 件/月(施設)

6 訪問診療の受け持ち患者の急変時、自身が往診に行けない場合の対応

	件数	割合
他の医師への依頼はせず、連携している訪問看護師や自院の看護師が対応し、自身に連絡が入るように調整している	136	41.2%
日頃から病状が悪化した場合は、救急搬送を要請するよう家族や施設職員に伝えている	88	26.7%
同じ診療所内に所属する医師が対応する	46	13.9%
グループを組んでいる診療所等、連携する他診療所の医師に事前に対応を依頼している	46	13.9%
その他	14	4.2%
合計	330	

7 今後の在宅医療に対する意向とその理由

1) 今後の意向について

	件数	割合
現状を維持したい	166	50.3%
増やしたい	97	29.4%
減らしたい	45	13.6%
やめたい(続けられない)	22	6.7%
合計	330	100%

(「増やしたい」「現状を維持したい」理由) (複数選択可)

(「減らしたい」「やめたい」理由) (複数選択可)

	件数	割合
外来を含むかかりつけ患者からの希望がある	170	64.6%
地域や社会から在宅医療が求められている	118	44.9%
他の医療機関から訪問診療などの依頼がある	97	36.9%
対象となる患者が今後増加する見込みがある	97	36.9%
訪問診療にやりがいを感じる	61	23.2%
国が地域包括ケアシステムの構築を推進している	24	9.1%
訪問のほうが経営状態がよくなると思われる	24	9.1%
その他	10	3.8%

回答合計 601

	件数	割合
年齢的に継続は無理だと感じている	51	76.1%
体力・気力に不安がある	41	61.2%
人(スタッフ)が不足している	20	29.9%
後継者がいない	14	20.9%
得られる診療報酬に比べて負担が大きい	9	13.4%
後方支援医療機関等と連携が難しい	7	10.4%
患者のニーズがない	5	7.5%
他職種との連携が不足している(手間がかかる)	3	4.5%
訪問用の医療機器が確保できない	2	3.0%
その他	3	4.5%

回答合計 155

8 地域関係機関との連携手段（複数選択可）

1) 医療関係機関（病院、他の診療所、訪問看護、歯科・薬局等） 2) 介護関係機関

	件数	割合
電話	298	90.3%
FAX	279	84.5%
情報提供書等の紙媒体	165	50.0%
電子メール	111	33.6%
公開型SNS※1	74	22.4%
非公開型SNS※2	54	16.4%
医療情報システム（ICT）	17	5.2%
その他	7	2.1%

回答合計 1005

	件数	割合
電話	299	90.6%
FAX	285	86.4%
情報提供書等の紙媒体	151	45.8%
電子メール	101	30.6%
公開型SNS※1	70	21.2%
非公開型SNS※2	44	13.3%
医療情報システム（ICT）	12	3.6%
その他	6	1.8%

回答合計 968

9 訪問診療を行っている患者及び家族への対応で、困難／工夫していること（複数選択可）

<困難に感じる事>	件数	割合
家族に介護（看護）できるものがない、時間が限られている	168	50.9%
患者と家族が病状や今後の見込みに関する理解ができていない	97	29.4%
本人や家族が医療に期待しすぎることが多い	91	27.6%
家族の協力が得られにくく、連携がとりにくい	85	25.8%
患者と家族で治療や療養に関する希望が異なる	76	23.0%
患者や家族からの緊急訪問の希望が多い	62	18.8%
その他	45	13.6%

回答合計 624

10 他機関との連携に関する課題（複数選択可）

<課題>	件数	割合
退院時の病院での説明（日常の処置、投薬等）が不十分	65	19.7%
患者の急変時に受け入れ可能な病院が少ない	65	19.7%
専門医療機関との連携が難しい	63	19.1%
地域のお他職種によるカンファレンスが不足	61	18.5%
退院前カンファレンスの回数が減っている	57	17.3%
ケアマネ等介護関係機関との連携が難しい	54	16.4%
地域で看取りに関わる医療従事者が不足している	47	14.2%
地域の在宅医療の資源（訪問診療、訪問看護等）が不足	37	11.2%
訪問看護師との連携が難しい	21	6.4%
その他	35	10.6%

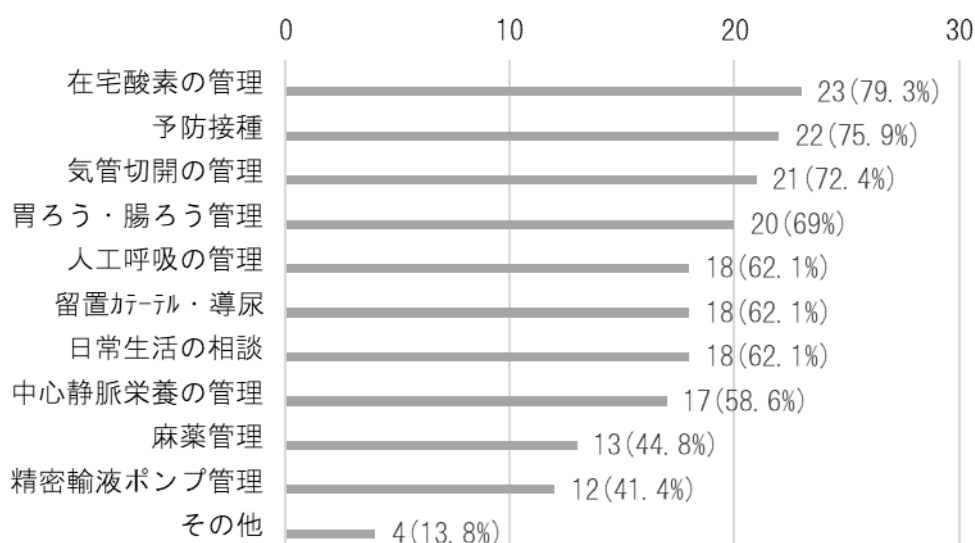
回答合計 505

C 小児への訪問診療

1 小児への訪問診療の実施状況 「条件付きで行っている」を選択された場合の条件（複数選択可）

	件数	割合		件数	割合
行っていない	301	91.2%	バックアップの病院（緊急時入院先）が明確に決まっていること	11	84.6%
行っている	16	4.8%	地域で相談できる小児科の医師がいること	4	30.8%
条件付きで行っている	13	3.9%	小児科の医療機関が訪問診療を行っており、2か所目であること	1	7.7%
合計	330	100%	その他	2	15.4%
			回答合計	18	

対応可能な診療内容（複数選択可）



2 医療的ケア児の訪問診療や地域の支援機関との連携等で感じている課題等（複数選択可）

	件数	割合
医療的ケア児を訪問診療する医療機関が少ない	165	50.0%
対応できる医師や看護師が少ない	107	32.4%
緊急入院を受け入れる病院が少ない	95	28.8%
レスパイトを受け入れる施設が少ない	36	10.9%
対応可能な訪問看護ステーションが少ない	26	7.9%
相談支援事業所等相談先が少ない	16	4.8%
訪問歯科診療が可能な医療機関が少ない	11	3.3%
訪問薬剤指導する薬局が少ない	7	2.1%
その他	65	19.7%

回答合計 528

D 新型コロナ対応における医療提供

1 自宅療養者への対応

【往診】

1) これまでの往診の実績

	件数	割合
往診の実績あり	142	43.0%
往診の実績なし	188	57.0%
合計	330	100%

2) ①令和4年2月の往診の実績

	件数	割合
あり	83	58.5%
なし	59	41.5%
回答合計	142	100%

②令和4年2月分往診延べ件数

	件数	割合
0件	2	2.4%
1～10件	61	73.5%
11～20件	7	8.4%
21～30件	2	2.4%
31～40件	2	2.4%
41～50件	2	2.4%
51～100件	5	6.0%
101件以上	2	2.4%
回答合計	83	100%

③往診の対象

	件数	割合
かかりつけ患者（訪問診療含む）のみ対応	90	63.4%
初診の患者も含めて対応	50	35.2%
未回答	2	1.4%
回答合計	142	100%

延べ件数合計 1,728 件

延べ件数平均 20.82 件／月

④往診時の治療実績

	件数		割合	
	あり	なし	あり	なし
中和抗体薬等新型コロナ治療薬の投与	34	108	24%	76%
対症療法：点滴治療の実施	52	90	37%	63%
対症療法：経口薬の処方	117	25	82%	18%
診察のみ（処方なし）	100	42	70%	30%

3) 往診しなかった理由（複数選択可）

	件数	割合
医師1人で診療所を運営している等、外来の継続を優先	99	52.7%
新型コロナ対応で外来が忙しくなり、訪問まで手が回らなかった	41	21.8%
この期間に、患者及び家族や保健所から依頼がなかった	39	20.7%
感染リスクの回避するために、往診しなかった	37	19.7%
この期間に、訪問している受け持ち患者とその家族に陽性者が出ていない	30	16.0%
感染管理やコロナ患者に往診を行うスキルがない	26	13.8%
その他	12	6.4%

回答合計 284

【オンライン診療】

1) オンラインの実績

	件数	割合
実績あり	98	29.7%
実績なし	232	70.3%
合計	330	100%

2) ①令和4年2月のオンラインの実績 ②令和4年2月オンライン実施数

	件数	割合
あり	68	69.4%
なし	30	30.6%
回答合計	98	100%

	件数	割合
0件	0	0.0%
1～10件	46	67.6%
11～20件	7	10.3%
21～30件	6	8.8%
31～40件	1	1.5%
41～50件	1	1.5%
51～100件	3	4.4%
101件以上	4	5.9%

回答合計 68 100%

延べ件数合計 1623件

延べ件数平均 23.87 件/月

③オンラインの対象

	件数	割合
かかりつけ患者（訪問診療含む）のみ対応	59	60.2%
初診の患者も含めて対応	39	39.8%
回答合計	98	100%

④オンライン時の治療実績

	件数		割合	
	あり	なし	あり	なし
中和抗体薬等新型コロナ治療薬の投与	11	87	11%	89%
対症療法：点滴治療の実施	12	86	12%	88%
対症療法：経口薬の処方	68	30	69%	31%
診察のみ（処方なし）	69	29	70%	30%

3) オンライン診療をしなかった理由(複数選択可)

	件数	割合
患者を直接診療する必要があると考えた	107	46.1%
医師1人で診療所を運営している等、外来の継続を優先	106	45.7%
この期間に、患者家族や保健所から依頼がなかった	40	17.2%
この期間に、患者及び家族や保健所から依頼がなかった	40	17.2%
感染管理やコロナ患者に往診を行うスキルがない	20	8.6%
この期間に、訪問している受け持ち患者とその家族に陽性者が出ていない	14	6.0%
その他	17	7.3%

回答合計 344

【高齢者施設】

<往診>

1) 高齢者施設への往診実績

	件数	割合
実績あり	86	26.1%
実績なし	244	73.9%
合計	330	100%

2) ①令和4年2月の往診の実績

	件数	割合
あり	56	65.1%
なし	30	34.9%
回答合計	86	100%

②令和4年2月往診施設数

	件数	割合
0件	0	0.0%
1～10件	49	87.5%
11～20件	4	7.1%
21～30件	1	1.8%
31～40件	1	1.8%
41～50件	0	0.0%
51～100件	1	1.8%

回答合計 56 100%

③往診の対象

	件数	割合
協力医療機関となっている施設にのみ対応	56	65.1%
初診の患者にも保健所や関係機関からの依頼があれば対応	28	32.6%
未回答	2	2.3%

回答合計 86 100%

延べ件数合計 290 件

延べ件数平均 5.18 件/月

④往診時の治療実績	件数		割合	
	あり	なし	あり	なし
中和抗体薬等新型コロナ治療薬の投与	29	57	34%	66%
対症療法：点滴治療の実施	32	54	37%	63%
対症療法：経口薬の処方	71	15	83%	17%
診察のみ（処方なし）	57	29	66%	34%

<オンライン診療>

1) 高齢者施設へのオンラインの実績 2) ①令和4年2月のオンラインの実績

	件数	割合
実績あり	26	7.9%
実績なし	299	90.6%
未回答	5	1.5%
合計	330	100%

	件数	割合
あり	16	61.5%
なし	10	38.5%
回答合計	26	100%

②令和4年2月オンライン実施数

	件数	割合
0件	1	6.3%
1～10件	4	25.0%
11～20件	0	0.0%
21～30件	0	0.0%
31～40件	0	0.0%
41～50件	1	6.3%
回答合計	6	

③オンラインの対象

	件数	割合
協力医療機関となっている施設にのみ対応	16	61.5%
初診の患者も含めて対応	10	38.5%
回答合計	26	100%

延べ件数合計 74件

延べ件数平均 12.33件/月

④オンライン時の治療実績

	件数		割合	
	あり	なし	あり	なし
中和抗体薬等新型コロナ治療薬の投与	6	20	23%	77%
対症療法：点滴治療の実施	8	18	31%	69%
対症療法：経口薬の処方	19	7	73%	27%
診察のみ（処方なし）	18	8	69%	31%

3) 往診もオンライン診療もしなかった理由（複数選択可）

	件数	割合
医師1人で診療所を運営している等、外来診療を優先	153	62.7%
外来や自宅療養者への往診で手一杯であった	81	33.2%
ゾーニングを含む感染管理等を指導する時間やスキルがない	26	10.7%
併設もしくは関連の施設、協力施設の利用者の健康管理を優先した	13	5.3%
地域（医師会等）で施設の訪問については役割分担をしていた	4	1.6%
その他	60	24.6%

回答合計 337

3 新型コロナの自宅療養者や高齢者施設への訪問等の課題・工夫（複数選択可）	件数	割合
感染管理やコロナ患者に往診を行うスキルがない	68	20.6%
訪問にあたって、保健所と連絡がつきにくかった	64	19.4%
相談できる機関（行政、地域の病院等）がなかった	61	18.5%
自宅や高齢者施設における感染対策に関する指導が困難だった	60	18.2%
保健所や施設からの依頼があった際の調整に時間がかかった	39	11.8%
新型コロナ治療薬の確保が困難であった	38	11.5%
訪問診療の一部をオンライン診療に切り替えることで、より多くの患者の診察や相談に対応できた	33	10.0%
保健所や施設からの依頼があった際の調整がうまくいった	29	8.8%
その他	76	23.0%

回答合計 468

4 訪問診療や地域関係機関との連携において、影響を受けたことなど（自由記載の概要）	件数	割合
訪問診療時の感染予防対策に係る費用が増えた	114	34.5%
訪問診療の回数が減った	93	28.2%
医療・介護関係機関からの連絡や情報共有、相談が増えた	76	23.0%
退院時の連携がとりにくくなった（カンファレンスの開催含む）	71	21.5%
地域支援者（他職種）によるカンファレンスが減った	69	20.9%
支援関係者のカンファレンスや情報共有にWEB会議形式を取り入れた	33	10.0%
訪問診療の一部をオンライン診療に切り替えることができた	8	2.4%
その他	48	14.5%

回答合計 512

E 災害時対応

1 災害時等有事の際の訪問診療(往診)に係る体制と対応

1) 個別準備を行っているか

	件数	割合
はい	38	11.5%
いいえ	292	88.5%
合計	330	100%

2) 内容(複数回答可)

	件数	割合
災害時等有事の際の体制や対応についてマニュアル化し、支援関係者と共有	17	44.7%
医師が患者に対し、個別に災害時等有事の際の対応について話をしている	13	34.2%
既存の在宅医療の提供体制が維持できるよう支援関係者で災害時等有事の際の役割を分担	7	18.4%
貸出用の非常用電源(バッテリー等)を診療所で確保	6	15.8%
その他	3	7.9%

回答合計 46

3) バッテリーの保有台数

個数	件数	割合
0	325	98.5%
1	5	1.5%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
合計	330	100%